

掲載日：2021年11月16日

11月17日は世界早産児デーです！

世界早産児デー（World Prematurity Day） 11月17日

世界早産児デーは、世界の早産における課題や負担に対する意識を高めるために、2008年にヨーロッパNICU家族会（EFCNI）および提携している家族会によって制定され、2011年から世界的な取り組みとして広がってきています。

早産などで、2015年（平成27年）に世界で低体重（2,500グラム未満）で産まれた赤ちゃんの数は、ユニセフ（国連児童基金）などの専門家の分析によれば、出生数全体のおよそ7人に1人にあたる2,000万人以上にのぼるとされています。

神奈川県で、令和元年に低体重で産まれた赤ちゃんは約6,000人で、出生数全体の約9.5パーセントとなっています。

現在、早産児の家族が安心して子育てができるよう、様々な活動やイベントなどの取り組みが行われています。

紫色のシンボルカラー

世界早産児デーの参加者が、シンボルカラーである紫色のアクセサリやネクタイ等を身に着ける取組みも行われています。

小さく産まれた赤ちゃんである「低体重出生児」のご家族の方（リトルベビーサークル「pena」）が、「世界早産児デー」を通じて低出生体重児のことを広めていくため活動をされており、知事にシンボルカラーの紫色のリトルベビーリボンとマスクを贈っていただきました。

11月17日は、知事も紫色のシンボルカラーを身に着けて執務します。



11月17日は世界早産児デーです！

県の重点施策

ME-BYO 未

ヘルスクア・ニュー
HEALTHCARE NEWROBOT TO
さがみロボ
STEZUKA PRODUCE

県西地域経済

かながわスマートエ
KANAGAWA SMAMAGCULT
MAGNET CULTURE PROJ

とまにま

SDGs 未来都
SDGs Future